

事務事業名		農業用ため池防災減災対策事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	耕地林務係
	施策	02	効率的な生産基盤の維持	内線電話	251・252
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	5目	農地費	平成30年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	地元区	ため池の調査点検、ハザードマップの配布や施設の長寿命化を図り、地域住民の防災意識を醸成する。
現状・課題	施設の老朽化により改修が必要となった場合、補助事業を導入するためには、個別施設計画が策定されていることが必要となる。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	農業用ため池防災減災対策事業
事務事業概要	ため池の調査点検、修繕工事、ハザードマップの作成配布、個別施設計画の策定	
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容	
	個別施設計画策定業務	1箇所

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		4,060,000	3,057,000
補正・流用等		円		3,320,000	6,090,000	—
合計		円		7,380,000	9,147,000	135,000
決算（見込）額 A		円		4,554,480	9,147,000	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円		2,200,000	2,000,000	
	市債	円				
	その他特定財源	円				
R2は予算額	一般財源	円		2,354,480	7,147,000	135,000
正規職員数		人		0.76	0.36	0.71
人件費 B		円		4,889,840	2,319,120	4,573,820
総事業費 A+B		円		9,444,320	11,466,120	4,708,820
市民1人当たりコスト		円		221	270	111

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度
個別施設計画策定		作成	目標	- 箇所	- 箇所
		成果	- 箇所	- 箇所	1 箇所
		目標			
		成果			-
成果指標と目標値を設定した理由	個別施設計画策定業務を計画的に進めていくため。				

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	インフラ長寿命化計画に基づく、個別施設計画を策定し長寿命化を図る。						

